

第 114 号

発行 四條畷市民生委員
児童委員協議会

会長 石 原 欽 子

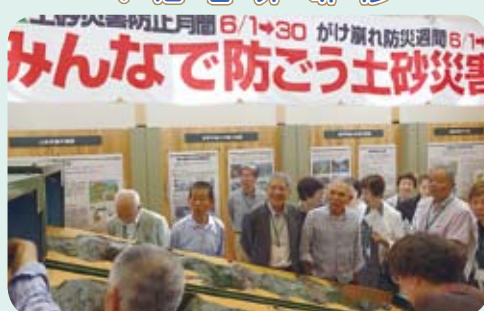
編集 民児協なわて広報部

「人々によりそい100年これからも」

協議会活動

- ・理事会 月1回
- ・定例会 月1回
- ・研修会

1 泊管外研修



和歌山県土砂災害啓発センター

研修会(災害時要援護者支援活動委員会)



亀の瀬地すべり資料館

見える化プロジェクト



第二夢丸工房と学生たちと楽しく演奏! アーチをくぐってうれしい!



こんにちは赤ちゃん訪問



元気に育ってね

地域活動

高齢者サロン



押し花を作っています

子育てサロン



じょうずにつくれたよ



プール楽しいなー

～ 民生委員・児童委員、主任児童委員とは ～

特別職の地方公務員で、厚生労働大臣に委嘱され、守秘義務があります。
民生委員・児童委員は、地域の身近な相談相手で、行政・福祉サービスとのつなぎ役です。
子どもや子育てに関することを専門的に担当するのが主任児童委員です。

令和元年度 専門部会事業計画

生活福祉部会

7月 社会福祉法人悠仁福祉会京都認知症統合センター視察研修
9月 敬老会協力・自殺予防街頭啓発キャンペーン
12月 障がい者ふれあい街頭キャンペーン

児童福祉部会

8月 親と子の映画会及び交通安全教室協力
9月 社会福祉法人八尾隣保館ルフレ八尾視察研修
10月 子育て講演会・親子のむかし遊び(市民の集い)

広報部

9月 泉佐野市民児協との交流研修会
・「民児協なわて」年3回発行

主任児童委員連絡会

6月 貝塚市民児協との交流研修会
・主任児童委員連絡会
・子育て関係機関連絡会
・河北ブロック主任児童委員会議
・要保護児童対策ネットワーク会議出席

災害時要援護者支援活動委員会

10月 京都市市民防災センター視察研修

災害時要援護者支援活動委員会

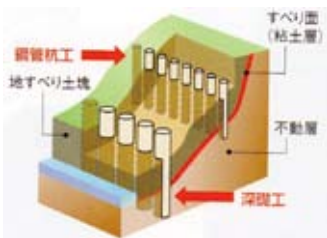
台風による二度の延期の後、1月30日(水)に「亀の瀬地すべり資料室」の研修が実現しました。何の変哲もない山というのが現地についていた時の第一印象でした。

資料室でビデオと展示資料による説明があり、「地すべり」の意味が分かりました。亀の瀬地すべり地は、数百年前の新旧2回の噴火によりできた2層の緩傾斜地盤で、上層の地盤が地すべりを起こし、対策対象とのこと。

平成31年2月13日(水)に開催された「小ネットの担い手確保に関する実践」というテーマの研修会に参加。吹田・岸和田・阪南各市の福祉委員会が実際に取り組んだ活動事例の紹介を中心とした研修会構成。何れも福祉委員会単独の取り組みではなく、地域の別組織とつながっての活動であるところがその特徴。それ

昭和37年から国が直轄して最先端技術で対策工事が実施されました。すべり面の地下水を除去したり、排水して地すべりが起こりにくくする抑制工事と、杭等の構造物を地盤に打ち込み、その抵抗力で地すべりを止める抑止工事があります。地中に埋設される集水トンネルや集水井、杭など、すべて驚きの巨大さです。

平成23年の対策工事を終了して以降、ずれを監視する体制で臨んでいるが、工事終了後に稲葉山が2m移動したので排土工を行い、今は止まっているそうです。



植前昌宏

市にも土砂災害警戒区域に指定されている地域が多く見られます。かつて「治水・治山」といわれた時期がありましたが、わが町にぴったりの表現のような気がします。

小地域ネットワーク活動リーダー研修会

それ福祉事業者・自治会組織・中学校とのつながりを有効活用し、単独では成し得ない成果を出している。

民生委員・児童委員の活動においても、他組織とのつながりをより広げて行くことがこれまで以上に求められていることを実感。そのためにも必要な広い視野と知識はこのような研修に多く参加して学ぶことで身に

つくのだらうということも併せて痛感しました。

当日は四條畷市の民生委員がそれぞれの地区の福祉委員として参加している姿が多くみられた。民生委員による各地域の福祉現場での幅広い活動を目的とした研修会でもあった。



北井隆嗣

防災講演会

2月24日(日)、10時~11時30分、市民総合体育館(サン・アリーナ)多目的室で阪神・淡路大震災記念主任研究員、松川杏寧さんから災害時の避難や避難所の運営などについてのお話がありました。

自殺対策強化月間街頭啓発キャンペーン

3月4日(月)、6時より忍ヶ丘駅前、四條畷駅前でティッシュペーパーを配布しました。

迷作展(なわて更生園)

3月13日(水)~19日(火)、ガレリア・ロッソ、イケダヤでなわて更生園の皆さんによる迷作展がありました。



楠公まつり

3月24日(日)、天気に恵まれ武者行列、稚児行列、友好都市紀北町の皆さんをはじめ、今年度は沢山の方々が参加され、にぎわいを見せられました。



民生委員児童委員協議会活動

地域活動報告会



米地区 高齢者サロン

塚米地区では毎月第二火曜日に「独居・高齢者向けのサロン」「さくらんぼ会」を開催し、午前の楽しいひと時とお昼の食事をみなさんに楽しんでいただいています。高齢者の方々に開催の日をきちんと覚えていただくための工夫が手作りカレンダーです。サロンの開催日を赤いサクランボで印したカレンダーを制作してみなさんに持ち帰っていただいています。「さくらんぼ会」を楽しみみなさんの様子サロン開催日を載せたB4サイズのカレンダーがとても好評です。

雁地区 子育てサロン

雁地区の子育てサロンKARIYAキッズの催しの中から、野菜ソムリエ資格を持つマ・藤川直子さんによる野菜料理教室を紹介します。子どもに食べやすい野菜料理の工夫の説明があり、当日はトマトを使ったスイーツ風の一品を親子で楽しくいただきました。スマホなどで『野菜ソムリエなおのこにこごはん』で検索すると、色々なレシピが紹介されています。



中野新町地区 世代間交流

恒例となつていいる芋ほり&バーベキューに今年は子育てサロンも一緒に参加しました。子どもたちは、大きな芋を掘ったりピザ作りをしたり大喜びでした。高齢者の方も子どもたちと一緒に話をしたり楽しんでおられました。

小学校区情報交換会

2月20日(水)、定例会で各小学校区に分かれて情報交換会が行われました。案件は、
1、こんにちは赤ちゃん事業の実施内容の変更に
2、子どもに関することについて
3、各小学校校区の問題点について
校区ごとの意見交換ができ、1については、育児支援の充実をめざし、支援が必要なのは方の情報共有が必要では

主任児童委員研修会



2月26日(火)、TKP心斎橋駅前カンファレンスセンターにて、主任児童委員の研修会がありました。講師に、明治大学商学部教授、藤田結子氏をお迎えし、「ワンオペ育児、もうひとりで悩まない!」というテーマでした。日本の男性は仕事の時間が長く、他の国に比べて家

事、育児の時間が飛び抜けて少ない。働く女性が増え、女性の家事育児の負担は重くなっている。夫が平日に家事を行うことや、待機児童の解消、育児サポートの提供など、社会全体で子どもを育てるまなざしと制度が必要であるというお話でした。

吉田知子

ゲートキーパー養成講座

3月11日(月)、市役所で関西福祉科学大学教授、都村尚子先生による研修がありました。急激な社会変化の中で、居場所を失い、信頼関係が形成されず希死(講師用語・「自殺」の意)

を考える人たちに対応することを学びました。ゲートキーパー(命の門番)として、危険なサインに気づき寄り添う大切さを教えていただきました。

山崎 譲

民生委員・児童委員 活動記録



1月

定例会・新年互礼会
民児協なわて113号発行
こんにちは赤ちゃん事業(毎月)
小地域ネットワーク活動(毎月)
災害時要援護者支援活動委員会
亀の瀬地すべり見学(柏原市)
主任児童委員活動

2月

理事会・定例会
小学校区情報交換会
主任児童委員活動
小地域ネットワーク活動リーダー研修会
大阪府主任児童委員研修会
防災講演会参加

3月

理事会・定例会
地域活動報告会
自殺対策強化月間街頭啓発キャンペーン
市内小・中学校卒業式参加
楠公まつり参加協力

4月

理事会・定例会
平成30年度事業報告・決算報告
平成31年度事業計画・予算計画
研修

テーマ「認知症高齢者の人権について」
講師・相談役 種智院大学教授
小寺鐵也氏

市内小・中学校入学式参加

こんにちは 赤ちゃん訪問

お子さまの健やかな成長と子育ての応援をするため家庭訪問をしています。
引き続き赤ちゃん訪問をしますが、下記のとおり少し訪問の仕方が変わります。

	新	旧
訪問の対象	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭	同 左
訪 問 者	全ての家庭を、初めに保健師・助産師が訪問、 次いで民生委員・児童委員と主任児童委員が訪問する	保健師・助産師と民生委員・児童委員と主任児童委員が分担して訪問する
訪 問 時 期	保健師・助産師は、生後1～2か月頃 民生委員・児童委員、主任児童委員は生後2か月以降	生後1～2か月頃まで
訪問時に 提供する情報	保健師・助産師 ・四條畷市の母子保健福祉サービス ・保健事業の案内 ・子育てガイド ・子どもの急な病気 ・休日、夜間の診察 などの情報 民生委員・児童委員、主任児童委員 ・主任児童委員作成の「子育て支援ブック」 ・その他、地域の子育て支援(子育てサロン)の情報	保健師・助産師 民生委員・児童委員、主任児童委員 とも下記を持参提供 ・四條畷市の母子保健福祉サービス ・保健事業の案内 ・子育てガイド ・子どもの急な病気 ・休日、夜間の診療 などの情報 ・主任児童委員作成の「子育て支援ブック」
アンケート票 の送付・回収	保健師・助産師訪問時に直接聞き取り調査を行うので、 アンケート票の送付・回収はなくなりました	・保健センターから郵送で事前送付 ・民生委員・児童委員、主任児童委員が訪問時に回収、または保健センターへ郵送

特殊詐欺アポ電にご注意を！

最近のニュース等で取り上げられている「アポ電」とは、特殊詐欺へと繋がっていく電話のことで、よく知られている「オレオレ詐欺」もこの特殊詐欺の手のひらのひとつです。

四條畷市内でも、このアポ電をきっかけとした特殊詐欺の被害が多発しており、昨年一年間で7件、約925万円の被害がありました。

「アポ電」がかかってきた時点で、犯人を見抜くことが出来れば、それに越したことはありません。

しかし、犯人は、「息子や孫」を騙る手口以外にも、銀行員、警察官、弁護士、市役所の職員や百貨店店員を名乗るケースなど、色々な手口を考えており、必ずしも見破れないのが実情です。

突然の電話を「アポ電」と見破ることは難しく、「本当かもしれない」と信じることもあるかも知れません。

そこで重要なのが、平素の準備や心構えです。詐欺師は自分の声が録音されるのを嫌うので、自宅の電話を留守番電話にしたり、防犯機能付きの電話に変えるだけでも防犯効果があります。

また、家族間で合言葉のようなものを決めておくのも良いと思います。

会話の中ですぐに不自然なお金の話を出してくるなど、少しでもおかしいと思えば家族や警察に、相談や確認をしてください。

犯人は「そんな場合ではない」等と言って話を進めようとしてきますが、たとえば実の息子の名前を名乗っていったとしても少し冷静になっていただき「家族や警察に相談する」ということをお忘れなく。

それがあなたの被害を防ぎます。

記事提供 四條畷警察署



お知らせ

《ものづくり交流会》

絵本作家の谷口智則さんと
絵を作ろう！

日程 7月30日(火)

場所 市民総合センター
展示ホール

50組(最大)の親子が絵本の朗読会と塗り絵を楽しく体験します。

※先着順で、予約が必要です。
《受付》7月1日から

四條畷市社会福祉協議会
072(878)1210

※詳しくは市の広報、ポスターを。

《親と子の映画会》

題名『グリンチ』

日程 8月21日(水)

場所 市民総合センター
グリーンホール田原

※予約の必要はありません。

※詳しくは市の広報、ポスターを。

※市民総合センターでは、大阪府警による交通安全教室があります。

新任民生委員・児童委員紹介

(川崎地区) 土井 まさ子